

令和 3 年度 事業報告書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

公益財団法人 マルホ・高木皮膚科学振興財団

目 次

1. 事業報告書	3
2. 事業報告書附属明細書	6
(1) 理事会・評議員会・選考委員会開催状況	
(2) 役員名簿	
(3) 評議員名簿	
(4) 選考委員名簿	

1. 事業報告書

当財団は、「創造的な研究の奨励等に関する事業を行い、皮膚科学の発展と国民の健康福祉の増進に寄与する」ことを目的に平成28年2月3日に設立され、皮膚科学に関する分野の研究を行う個人や団体に助成を行うことで、この分野の治療、研究の振興を図り、もって我が国の健康の促進と医療の発展に貢献したいと考える。

平成29年度からは、定款第4条（事業）第1項に掲げる「皮膚科学に関する研究に対する助成」事業を毎年度実施している。

(1) 公益事業の実施

1) 皮膚科学に関する研究に対する助成事業の実施

1-1) 第5回高木賞

「皮膚科学の発展に資する研究を行う個人や団体に対して、助成金の支給」という形で支援する事業を実施し、令和3年4月に以下の7名の受賞者に対し、助成金を交付した（所属・役職は申込時）。

高木賞 500 万円（1名）

- ・奈良県立医科大学 准教授 新熊 悟
「復帰変異モザイクモデルマウスの作製と表皮細胞の増殖優位性獲得機序の解明」

高木賞 250 万円（6名 五十音順）

- ・群馬大学附属病院 講師 清水 晶
「皮膚悪性腫瘍関連 Human papillomavirus 検出キットの開発」
- ・香川大学 教授 大日 輝記
「円形脱毛症の上皮-免疫微小環境(EIME)」
- ・島根大学 准教授 千貫 祐子
「成人小麦アレルギー疾患感受性遺伝子に関する簡易検査法の開発と発症予防法の確立」
- ・名古屋市立大学大学院 講師 中村 元樹
「メルケル細胞癌における腫瘍の G6PD 発現と免疫活性に基づいた免疫チェックポイント阻害薬効果予測」
- ・浜松医科大学 教授 本田 哲也
「組織常在型記憶 T 細胞の包括的機能理解を切り口とした慢性炎症性皮膚疾患病態解明と革新的治療戦略」
- ・信州大学 助教 皆川 茜
「早期爪部メラノーマ診断における爪片中メラニン代謝物質のバイオマーカー検証」

令和3年4月17日には、新型コロナウイルス感染症対策のためWEB上にて贈呈式を実施した。

1-2) 第6回高木賞

令和3年7月に医育機関名簿に基づき全国医育機関181か所の皮膚科教授/部長宛に高木賞募集要項を送付し、同年10月1日から11月30日までの間に合計15件の応募を受けた。

応募を受けた案件は、7名の選考委員により「研究の科学的新規性」、「研究の臨床医学へのインパクト」、「研究方法およびその計画の妥当性(倫理性を含む)」、「皮膚科臨床に対する直結度」を勘案して5段階評価により審査された。これらの結果については令和4年2月3日WEB開催の選考委員会での審議を経て、同年3月4日の理事会にて第6回高木賞受賞者6名を決定した。同年4月以降に、各大学の指定の方法に従い助成金を交付する。

なお、北海道大学病院・岩田浩明先生は令和4年3月1日から岐阜大学に異動につき、岐阜大学の指定の方法で助成手続きを行なっている。

第6回高木賞の受賞者は以下の6名である(所属・役職及び年齢は申込時)。

高木賞 500万円 (2名 五十音順)

- 大分大学 助教 酒井貴史

「アトピー性皮膚炎患者に生じる炎症と骨異常の予防戦略開発：RANKLを標的として」

- 聖マリアンナ医科大学 准教授 宮垣朝光

「皮膚T細胞リンパ腫の新規治療標的となる表面分子の探索」

高木賞 250万円 (4名 五十音順)

- 北海道大学病院 講師 岩田浩明

「ヘイリーヘイリー病の病態解明とハプロ不全に着目した新規治療開発」

- 札幌医科大学 講師 肥田時征

「カスタムシーケンスパネルとリキッドバイオプシーによる日本人メラノーマの個別化医療」

- 医療法人けいしん会 理事長 三上万理子

「USA300 clone 皮膚感染症の迅速診断システムの開発」

- 東京女子医科大学 准教授 山上淳

「単一細胞解析と連動した天疱瘡の自己抗体産生機序の解明」

令和4年4月16日に東京・品川のザ・プリンスさくらタワー東京にて第6回高木賞の贈呈式を実施する。

1-3) 第3回高木賞 受賞者からの報告

第3回高木賞の助成期間が令和3年12月末日に満了したため、助成者に対して助成期間満了のお知らせと、結果報告書、収支報告書提出のお願いを送付し、第3回高木賞受賞者から収支報告書、研究結果報告書を手入している。以後、研究結果報告書の小冊子を作製する予定である。

2) 広報活動の実施

第2回高木賞の研究成果をまとめ、研究結果報告書集として冊子化した。これらを高木賞募集要項とともに医育機関名簿に基づき全国医育機関181か所の皮膚科教授/部長宛に送付した。この第2回高木賞にかかる研究結果報告書は、その1部ずつを国立国会図書館、日本科学技術振興機構及び医学中央雑誌刊行会に納本した。

また、日本皮膚科学会誌131巻第10号、11号及び日本臨床皮膚科医会雑誌に第6回高木賞の募集要項と第5回高木賞受賞者名を掲載し、日本国内の皮膚科医に対してマルホ・高木皮膚科学振興財団と高木賞について広報活動を実施した。

令和4年3月7日には、同年3月4日に開催された理事会で決定した第6回高木賞受賞者を財団ホームページに掲載した。

国内の臨床現場の皮膚科医に対する当財団、高木賞の認知度は未だ低いと思われる。このため、臨床現場での財団の認知度を上げるために、令和3年4月25日に発表された日本臨床皮膚科医会総会・臨床学術大会のポスター賞に財団から副賞として盾と賞金を贈呈して財団の周知広報活動を実施した。

最優秀賞	20万円	順天堂大学浦安病院	栗原麻菜
優秀賞	10万円	日本大学附属板橋病院	葉山惟大
〃		慶応義塾大学病院	八代 聖
〃		福岡大学	宮地素子

又、令和4年3月には、次回ポスター賞受賞者への副賞贈呈について日本臨床皮膚科医会事務局と打合せを行った。同時に、本件の学術大会のホームページへの掲載をお願いし広報活動の一助とした。

令和4年4月23日、24日の日本臨床皮膚科医会総会にて決定されるポスター賞受賞者に対し後日、副賞贈呈を行うとともに学会誌や学会ホームページでの公開を依頼する予定である。

(2) 理事、評議員

令和4年3月31日現在の理事・評議員数

理事 12名 評議員 7名

2. 事業報告附属明細書

(1) 理事会・評議員会・選考委員会開催状況

1) 理事会

①令和3年度 第1回定例理事会 令和3年5月21日

新型コロナウイルス感染症対策のため、決議の省略による方法を用いて実施した。

議題	内容
<決議事項>	
1) 令和2年度事業報告・財務諸表	令和2年度の事業報告・財務諸表について承認された。
2) 第6回高木賞 募集要項について	第6回高木賞の募集要項について承認された。
3) 令和3年度 定時評議員会招集	定時評議員会招集について承認された。
<報告事項>	
1) 内閣府立入検査実施内容について	内閣府立入検査の実施内容について報告された。
2) 職務執行状況の報告	理事長、常務理事の職務執行状況について報告された。

②令和3年度臨時理事会 令和3年6月11日

新型コロナウイルス感染症対策のため、決議の省略による方法を用いて実施した。

議題	内容
1) 理事長、常務理事選定	理事長に高木幸一氏、常務理事に愛宕栄彦氏が選定された。
2) 責任限定契約締結の件	業務執行理事を除く理事と財団間で責任限定契約を締結した。

③令和3年度 臨時理事会 令和3年12月10日

議題	内容
<決議事項>	
1) 保有株式議決権行使	マルホ株式会社の株主総会議決権行使について承認された。
<報告事項>	
1) 日本臨床皮膚科医会総会ポスター賞について	日本臨床皮膚科医会にてポスター賞副賞として盾と賞金を贈与し、高木賞の宣伝に努めた旨が報告された。
2) 第6回高木賞の応募状況と第5回までの総括	第6回高木賞の応募状況と、第5回までの応募状況をまとめ、その傾向を報告し今後の方策の一助とした。

④令和3年度第2回定例理事会 令和4年3月4日 WEB併用により開催した

議題	内容
<決議事項>	
1) 第6回高木賞受賞者の決定	第6回高木賞の受賞者について承認された。
2) 第7回高木賞選考委員長、選考委員の選任	第7回高木賞の選考委員長と継続する選考委員選任について承認された。
3) 令和4年度事業計画、収支予算書	令和4年度の事業計画、収支予算書について承認された。
<報告事項>	
1) 職務執行状況の報告	理事長、常務理事の職務執行状況について報告された。

2) 評議員会

① 令和3年度定時評議員会 令和3年6月11日

新型コロナウイルス感染症対策のため、WEB併用により開催した。

議題	内容
<決議事項>	
1) 令和2年度事業報告・財務諸表	令和2年度の事業報告・財務諸表について承認された。
2) 理事の重任/新任/退任について	村松音和、愛宕栄彦氏の新任、吉田治典氏の退任、他の理事の重任について承認された。
3) 評議員の新規選任について	安井清氏の新規選任について承認された。
<報告事項>	
1) 第5回高木賞贈呈式の実施報告	第5回高木賞贈呈式の実施について報告された。
2) 内閣府立入検査の実施報告	内閣府による立入検査の実施内容につき報告された。

3) 選考委員会

令和4年2月3日 WEBを用いたリモート会議で実施した。

15件の応募案件について、各選考委員の評価（令和3年12月～令和4年1月実施）の集計表に基づき選考を行い、6件の高木賞候補者を選択した。

(2) 役員名簿

【理事：12名・監事2名】

【任期（理事）：令和3年6月14日から令和5事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

【任期（監事）：令和元年6月14日から令和5事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏名	備考
理事	高木 幸一	創業家、マルホ株式会社 代表取締役会長
理事	愛宕 栄彦	マルホ株式会社 特任参与
理事	川島 眞	東京女子医科大学名誉教授
理事	川島 義治	公益財団法人宮川庚子記念研究財団 理事
理事	黒澤 和平	元 藍野大学 医療保健学部長 公益財団法人興和育英会 評議員
理事	今野 清隆	元 日本新薬株式会社 執行役員
理事	昌子 久仁子	神奈川県立保健福祉大学 教授
理事	富田 圭子	近畿大学農学部 准教授
理事	原 拓志	関西大学商学部 教授、神戸大学名誉教授
理事	前田 誠二	元 マルホ株式会社 取締役
理事	村松 音和	創業家
理事	安村 満	元 アステラス製薬株式会社
監事	鈴木 祥克	太陽グラントソントン税理士法人 パートナー
監事	濱岡 峰也	清和法律事務所 弁護士

(3) 評議員名簿

【評議員：7名】

【任期：令和元年6月14日から令和5事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

【*任期：令和3年6月11日から令和7年事業年度に係る定時評議員会の終結の時まで】

役職名	氏名	備考
評議員	上島 悦子	大阪大学名誉教授
評議員	小野 昭雄	小野PB企画 代表
評議員	富田 美子	創業家
評議員	平野 光俊	大手前大学 副学長、神戸大学名誉教授
評議員	藤村 昭夫	自治医科大学名誉教授
評議員	宮井 宏	元 パナソニック株式会社
評議員	安井 清*	元 マルホ株式会社 執行役員

(4) 選考委員名簿

【選考委員：7名】

【任期：令和3年度（令和3年4月1日～令和4年3月31日）】

選考委員名 非開示